

1. TICAD7に向けた決意 現状認識, 今後のTICADのあり方と日本企業の決意

- (1) 過去25年間に築かれた「TICADブランド」は貴重な価値。
- (2) 日本の成長機会の確保とアフリカの構造変革への貢献の観点から, 日本企業によるアフリカビジネスの加速・拡大を図ることは官民双方の課題。
- (3) TICADプロセスに, アフリカ進出日本企業の声を反映する仕組みを創設。

2. アフリカの持続的発展を実現するための重点分野・取り組み

- (1) 今後のアフリカ戦略 〈基本方針〉
 - ①SDGs目標達成とアジェンダ2063への貢献, ②自由で開放的な経済秩序強化のためのアフリカ地域経済統合促進, ③イノベーションの推進と日本の経験・技術を活かした制度設計・運用改善の提案, ④ショーケースとしてのTICADモデル/プロジェクトの提示, ⑤小規模でも具体的な民間事業への支援と横展開
- (2) 投資・事業環境の整備と良い統治の実現(アフリカ各国政府への働きかけと国際機関・第三国等のパートナーシップの活用)
- (3) 質の高いインフラの整備
- (4) 人材育成に向けた官民連携の強化
- (5) 農業生産性向上・付加価値増への貢献
- (6) 日本の強みを生かした快適で健康な生活環境づくり(保健衛生・予防医療・栄養改善)
- (7) きれいな街と健康的な暮らしの実現に向けた支援(環境問題・都市問題)
- (8) イノベーションの促進など, 新たなアフリカ支援の担い手としての中堅中小・スタートアップ企業の力を活かす仕組み

3. 民間ニーズに即した資金スキームの提供等, 我が国公的支援の充実

民間の事業活動の基盤形成や支援を通じた経済発展の好循環への最初の推進力として, 公的支援は必要かつ有効。

- (1) 各省の各種予算・事業費、資金スキーム枠を十分に確保
 - (2) 各種制度の相互相乗りや柔軟性確保
- (例:円借款の拡充や手続きの迅速化, 草の根無償等の制度の拡充, JICA海外投融資及びJBIC投融資の拡充・条件緩和や引き受け基準の明確化, AfDBなどとの協調融資等更なる連携促進, 中堅中小・スタートアップ企業への支援制度創設, NEXIによる保証の拡充など)

4. TICADプロセスのモデルチェンジと官民連携の強化

- (1) 民間企業を公式なパートナーとして位置づけ, アジェンダ作成段階から関与
- (2) 日アフリカ官民経済フォーラム等既存の枠組みとの連動
- (3) 常設の「官民アフリカビジネス協議会」を設置